

press release

The 65th Japan Traditional Crafts - Art Crafts - Exhibition

日本伝統工芸展

第65回



広島県から2人受賞!

陶芸/染織/漆芸/金工
木竹工/人形/漆工芸

二度見するほど美しい。
人間国宝から新進気鋭の若手まで

金城一因斎切金螺鈿箱「青麦」朝日新聞社賞

会期 平成31(2019)年
2月21日(木)～3月10日(日)
会期中無休

まもなく開幕！
開会式情報、主要作品解説、
特別メニューなど追加しました。

開館時間 9:00～17:00
※金曜日は19:00まで、入場は
閉館の30分前まで
※2月21日(木)は10:00開場

料金 一般 700円 (500円)
高・大学生 400円 (200円)
※中学生以下無料



- JR広島駅より約1km ● 広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

【開会式情報】

次の通り、「第65回 日本伝統工芸展」の開会式を行います。

報道各位におかれましては、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。

日時：平成31年2月21日(木) 午前9時30分～

場所：広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー

内容：主催者紹介・挨拶、来賓紹介、テープカット、内覧

【開催趣旨】

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としています。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作9点を含む約300点を展示します。人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、日本を代表する工芸家たちの最新作をお楽しみください。



森田由利子 線描幾何文花入
日本工芸会会長賞

【展覧会の構成】

本展は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門から構成されます。

I 陶芸

土器、^{せつ}炆器、陶器、磁器というように、やきものは原料とその性質から分類されます。さまざまな釉薬や上絵具による絵付け、窯の中で偶発的に発生する窯変など、バラエティに富んだ作品が一堂に並びます。

II 染織

染織は文字通り、染めることと織ることをいいます。木綿や絹、芭蕉や和紙などを素材として用いた、染めと織り、刺繍などによる色とりどりの着物が見る人を魅了します。

III 漆芸

漆芸は、東アジアや東南アジアで発達した東洋独特の工芸で、各地域で特色のある器や調度が作られてきました。漆の塗肌の味わいや光沢を活かした^{きゅうしつ}髹漆、貝を使った華やかな^{らでん}螺鈿など多彩な作品を展示します。



平 恵子 袖織着物「切子」
日本工芸会新人賞



金城一國斎 切金螺鈿箱「青麦」
朝日新聞社賞

press release

IV 金工

金工は文字通り、金属による工芸をいいます。素材は、金、銀、銅、鉄、異なる金属を合わせた合金など。叩いて成形する鍛金、熱く溶かした金属を鑄型に流し込んで成形する鑄金、彫ったり鍍金したりして加飾する彫金など様々な技法による作品を紹介します。

V 木竹工

木竹工は、木工と竹工をいいます。木工の技法は大きく分けて口クロを使った挽物、削って形を作る割物、薄い板を曲げて成形する曲物、板状の木を複雑に組み合わせた指物などがあります。ケヤキや黒柿、松や黒檀など木の性質を活かして作品制作が行われます。竹工は、真竹や孟宗竹などをそのまま、あるいは細く割ってヒゴとし、編んで作品とします。

VI 人形

伝統的な人形制作は木彫や桐塑、張子や陶磁製の陶胎があります。作品の背景にあるだろう物語や伝説はもちろん、衣装の布選びや小物まで、作者は工夫をこらしています。

VII 諸工芸

諸工芸には、ガラスや七宝、玉や象牙、截金や硯などが含まれます。ガラスの成形法には、型を使う方法と使わない方法があり、切子や腐蝕などで加飾します。七宝は銀や銅などの素地にガラス質の釉薬を焼き付けるもので、有線七宝、無線七宝、省胎七宝などがあります。メノウや水晶をくりぬいた玉、染めたり彫ったりした象牙（現在はマンモスの牙が多い）、線状に切った金箔などを貼ることで文様を表した截金、山口県や山梨県などが特産の硯といった多彩な作品をご覧ください。

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。



前田宏智 四分一象嵌打出銀器
日本工芸会総裁賞



川口清三 櫛拭漆鉢
日本工芸会保持者賞



藤田美智子 木芯桐塑胡粉「雲錦」
日本工芸会奨励賞



池田貴普 有線七宝花瓶「躍動」
日本工芸会奨励賞

press release

【主要作品解説 受賞作品から】



**前田宏智 四分一象嵌打出銀器
日本工芸会総裁賞**

昭和36年生まれ、東京都在住。白い銀地に、銅と銀の合金「四分一」を象嵌し、鍛造によって成形した作品。銅と銀の配合比を変えることにより微妙なグラデーションを生み出しています。柔らかかで伸びやかな文様とシンプルな器形が見事に調和しています。



**金城一国斎 切金螺鈿箱「青麦」
朝日新聞社賞**

昭和40年生まれ、広島県在住。麦の若葉が太陽に向かって伸びる姿を、金・銀の切金と白蝶貝の螺鈿で表現した漆塗りの飾箱。様々な加飾技法を巧みに組み合わせることにより、詩情豊かな世界を創り出しています。



**しんたにひとみ 乾漆螺鈿天牛箱
高松宮記念賞**

昭和62年生まれ、奈良県在住。麻布を漆で貼り重ねて造形したボディの上に、円文様を螺鈿で散らしています。昆虫の姿を模したというユーモラスなフォルムに、作者の新鮮な感覚が生かされています。



**平 恵子 紬織着物「切り」
日本工芸会新人賞**

昭和29年生まれ、広島県在住。模様に合わせて糸を染め分ける「緋」という技法で作られた作品。江戸切子をヒントに斜めの光る線を表現したという格子模様が、寸分の狂いなく丁寧に織りあげられています。

press release

【関連イベント】

伝統工芸に親しみ、楽しく学んでいただくための体験イベントやワークショップを多数用意しております。

講演会「色鍋島・今右衛門の伝統」（共催：広島県立美術館友の会）

日時：2月23日（土）13:30～15:00（開場13:00）

講師：十四代今泉今右衛門（人間国宝〈重要無形文化財「色絵磁器」の保持者〉）

会場：地階講堂

※定員200名（当日先着順）。聴講無料

出品作家による制作実演

日時・作家（分野）

2月24日（日）14:30～15:30 金城一国斎（漆芸）

3月3日（日）13:30～14:30 部谷きよみ（人形）

3月10日（日）13:30～14:30 平 恵子（染織）

会場：3階ロビー

※ 申込不要。観覧無料

子供ワークショップ「ギャラリートークに挑戦しよう！」

学芸員から作品の見どころや説明の仕方・話し方を学び、子供たちが保護者や一般来場者を前に展示室でギャラリートーク（作品解説）を行います。学芸員のタマゴ、この指とまれ！

日時：3月2日（土）13:00～16:00（受付開始12:45）

子供ギャラリートークは15:00～16:00

講師：福田浩子（当館学芸課長）、岡地智子（当館学芸員）

受付：3階ロビー

参加料：児童・生徒無料、保護者は入館券が必要

対象：小学生以上の児童・生徒および保護者

募集人数：10組（小学生以上の児童・生徒および保護者）

※要事前申込（当館082-221-6246）。子供ギャラリートーク聴講は申込不要。入館券が必要です。

工芸作家の小品販売

日本工芸会会員の作品を、会期中、3階ミュージアムショップで販売します。

一点ものの作品をお手頃な価格でご準備しております。

子どもガイドブック『工芸技法キャラクター図鑑』

《青磁仙人》、《螺鈿兄弟》...さまざまな工芸の技が、愉快でちょっと変わったキャラクターに変身！工芸技法をわかりやすく解説した子供向けガイドブックを無料で配布します。ガイドブックに掲載された作品を全部見つけて、オリジナルキャラクターカードをゲットしよう！

対象：小・中学生 ※大人の方もご参加いただけます。



工芸技法キャラクター図鑑

press release

ギャラリートーク

日時	講師(分野)
2月22日(金)11:00～	当館学芸員(全般) 17:00～当館学芸員(全般)
2月23日(土)11:00～	小林松斎(木工)
2月24日(日)11:00～	金城一国斎(漆芸)
3月1日(金)11:00～	今田拓志(陶芸) 17:00～当館学芸員(全般)
3月2日(土)11:00～	栗根仁志(七宝) 15:00～ワークショップ参加の子どもたち
3月3日(日)11:00～	部谷きよみ(人形)
3月8日(金)11:00～	菅坂安子(七宝) 17:00～当館学芸員(全般)
3月9日(土)15:00～	佐故龍平(金工)
3月10日(日)11:00～	平 恵子(染織)

所要時間：約40分

場所：3階企画展示室

※申込不要。入館券が必要です。

スライドトーク「展覧会の『裏側』お見せします！」

展覧会はどうやってできるの？展覧会制作の“裏側”を担当学芸員がご紹介します。

日時：3月9日(土)11:00～

※申込不要。聴講無料。3階ロビーで行います。

森本ケンタ ロビーコンサート&スペシャルミニトーク

日時：2月24日(日)12:00～

トークゲスト：金城一国斎(漆芸作家・本展朝日新聞社賞作家)

※申込不要。鑑賞・聴講無料。1階 ロビーで行います。

you-ichi(ユーイチ) 展覧会オリジナルケーキ&クッキー

受賞作品《切金螺鈿箱「青麦」》をイメージしたケーキと、受賞作品《紬織着物「切子」》をイメージしたクッキーを限定でご用意します。

【ケーキ】

期間限定：2月22日(金)～26日(火) [1日10食限定]

場所：3階ティールーム

【クッキー】

会期中、3階ミュージアムショップにて販売

※数に限りがございます。



press release

【特別メニュー】

1階 Zona ITALIA in Centro(ゾーナ イタリア イン・チェントロ)

スパゲッティ アマトリチャーナ カップチーノ仕立ては、ローマ料理の代表的なソースで、イタリア中部にあるラツィオ州の伝統食品に認定されています。今回はさらに卵白、卵黄に生クリームを入れ泡状にしたものを仕上げに加えています。リポッリータとは豆と野菜を煮込んだ料理で、トスカーナ地方の伝統的庶民料理のひとつ。「再び煮る」という意味のスープで、今回は白いんげん豆と黒キャベツを煮込み、具の多いスープと相性の良い自家製パンでとろみを付けました。ズッパ・イングレーゼは、リキュールやシロップを染み込ませたスポンジケーキ。シロップを染み込ませたスポンジケーキとカスタードクリームを交互に重ねたものにベリー、メレンゲを加えてそれにチョコを振りかけた、ピンク・白・黒と色彩が鮮やかなドルチェです。まさに本展にふさわしいイタリア料理の伝統と技の全3品を心ゆくまでご堪能ください。



スパゲッティ アマトリチャーナ カップチーノ仕立て



リポッリータ



ズッパ・イングレーゼ(ドルチェ)

3階 ティールーム 徒夢創家(トムソーヤ)

今年もやります！恒例の「でっかいお餅のぜんざいセット」が登場。緩めのぜんざいに大きなお餅は食べ応え十分です。ご鑑賞のあとはぶるっと寒いこの季節にぴったりのあったかぜんざいをお楽しみください。もう一品の「春を呼ぶ～ お抹茶セット」は、小さな桜餅ときな粉の彩りもやさしい春のお抹茶のセット。いずれも大好評につき、期間限定 季節のメニューとして、2019年2月12日～4月12日まで提供いたします。さらにyou-ichi(ユーイチ) 展覧会オリジナルケーキ[1日10食限定]もティールームにてご注文いただけますのでぜひ、この機会にお試しください。



でっかいお餅のぜんざいセット



春を呼ぶ～ お抹茶セット

【縮景園連携】

ワンコイン縮景園

本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

press release

【県美×現美×ひろ美 相互割引】

「日本伝統工芸展」の会期中、3館で相互割引を実施！

下記いずれかの特別展チケット(半券可)を受付にご提示いただくと、
本展当日料金より100円割引。詳しくは各館にお問い合わせください。

※1枚につき1名様限り、他の割引との併用はできません。

広島市現代美術館(南区比治山公園1-1/TEL 082-264-1121)

松江泰治 地名事典 | gazetteer 2018年12月8日(土)~2019年2月24日(日)

開館30周年記念展 美術館の七燈 2019年3月9日(土)~5月26日(日)

ひろしま美術館(中区基町3-2[中央公園内]/TEL 082-223-2530)

シャルル=フランソワ・ドービニー展 ゴッホが愛した風景画家 2019年1月3日(木)~3月24日(日)

【開催概要】

メインタイトル：第65回日本伝統工芸展

英語名：The 65th Japan Traditional Kōgei-Art Crafts-Exhibition

料金：一般 700(500)円 高・大学生400(200)円 ※中学生以下無料

※()内は前売り・20名以上の団体料金

※学生券をお求め・ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と
介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所：前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、
ゆめタウン広島などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館／NHK広島放送局／朝日新聞社／(公社)日本工芸会

助成：平成30年度文化庁補助事業



協賛：マツダ／大田鋼管／ヒロタニ／ヒロテック

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 岡地 智子 神内 有理

広報担当：総務課 上西 真由美 一色 直香